



KANTO

総合カタログ

| H550KS/H600KS/H650KS

| H600E

| KV25CS/KV25DS

| KV40CSE/KV40DSE

| KV40CSi/KV40DSi

| KT30S

| CW200

| H11i

KANTO TEKKO CO., LTD



ごあいさつ

1984年(昭和59年)、当社は、国際的な転圧機メーカー様への部品供給会社として設立。以来、「世界に通じる技術を」と、経験と実績を積み重ねながら、現在では、各種締固め機械の完成機からメイン部品までを供給するに至っております。さらに、クローラ洗浄機など、当社独自の視点で開発した機械を製造・販売しております。

また、環境負荷低減の観点から、環境と経済が両立した循環型社会を形成していくキーワードである「リデュース」「リユース」「リサイクル」の3Rにも注力。その一環として、過去には排出ガス浄化装置、現在では中古機の再生(リユース)事業に取り組んできました。リユース機は、レンタル用または販売用として、多くのレンタル会社様に対し、高性能な機械を低コストで提供することを可能にしております。

このように、メーカー様やレンタル業界の各社様との協力関係を大切に、建設現場で実際に使用するエンドユーザー様の作業効率向上に貢献できるよう努めております。長年つちかかってきたノウハウを活かしながら、これからも“誠意あるものづくり”を貫き、皆様に喜んでいただける製品をご提供していきたいと考えております。

今後とも一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

鈴木 庸徳

会社概要

商号 関東鉄工株式会社(KANTO TEKKO CO., LTD.)
資本金 4,000 万円
代表者 鈴木 庸徳
事業所 ■ 本社・工場 〒306-0127 茨城県古河市下片田 852-4
TEL 0280-77-0081 FAX 0280-77-0080

事業内容

- 締固め機械(ロードローラ・タイヤローラなど)の製造・組立・販売
- 締固め機械用部品(ローラドラム・フレームなど)の製造・販売
- 自社オリジナル重機メンテ機器(クローラ洗浄機)の製造・組立・販売
- 締固め機械のリユース機販売・レンタル
- 自社オリジナル締固め機械(振動ローラ)の製造・組立・販売



YouTubeで会社紹介がご覧になれます。

KANTO



会社沿革

- 1984 ドイツ・ボーマク社への部品およびコンポーネントの供給会社として設立。
- 1985 日本ボーマク株式会社への部品およびコンポーネントの供給を開始。
- 1986 締固め部門を発足。タイヤローラおよびマカダムローラを独自開発、生産を開始。
- 1988 タイヤローラおよびマカダムローラを同時発売。両機種のご河機械金属株式会社への OEM 供給を開始。
- 1991 クローラ洗浄機(各種重機の足回り洗浄ロボット)を開発。
- 1992 クローラ洗浄機「CW20」を発売。
- 1993 資本金を 4,000 万円に増資。
- 1995 トルコン式タイヤローラ「PT20W」を発売。
- 1996 第一次排出ガス規制をクリアした締固め機械 3 機種、タイヤローラ「P20WA」「PT20WA」、マカダムローラ「M1F」を発売。
東京濾器株式会社と共同開発の重機用排出ガス浄化装置「DCR-650E」(建技評 第 96302 号)を発売。
- 1999 CONET'99(建設機械展示会)にて、新型マカダムローラ「M1-II」を発表。
- 2001 ホームページを開設。
- 2003 レンタル事業を開始。
ディーゼル自動車用 八都県市指定粒子状物質減少装置の販売を開始。
- 2004 重機用排出ガス浄化装置を 2,000 台販売達成。
- 2006 クローラ洗浄機「CW25」を発売。
- 2009 ハンドガイドローラ「H600/H650」、4 トン コンバインドローラ「KV40C」、タンデムローラ「KV40D」を発売。
- 2010 3 トン タイヤローラ「KT30」、2.5 トン コンバインドローラ「KV25C」、タンデムローラ「KV25D」を発売。
- 2012 NETIS 登録、超低騒音型 振動ローラ「KV25CS/DS」「KV40CS/DS」販売開始。
HAMM 社 土工用振動ローラ販売開始。
- 2015 4 トン振動ローラ「KV40CSE」「KV40CSI/DS」販売開始。
- 2016 中部工業株式会社と販売提携を開始し、中部工業株式会社のグループ会社となる。
- 2017 NETIS 登録、超低騒音型 ハンドガイドローラ「H600KS/H650KS」、3 トン タイヤローラ「KT30S」販売開始。
- 2018 ハンドガイドローラ「H550KS」販売開始。
旧本社工場、坂間工場を新工場へ集約移転。
- 2019 業界初の電動式ハンドガイドローラ「H600E」販売開始。
クローラ洗浄機「CW200」を発売。

H550KS/H600KS/H650KS

▶ ハンドガイドローラ



超低騒音型建設機械

超低騒音型：H600KS は 94dB、H650KS は 93dB の低水準！
H550KS は 550kg クラスで初の NETIS 取得！
25% 肉厚の”スーパードラム”を標準仕様として採用



耐久性・施行性抜群の
“スーパードラム”

入替え時期が延び収益性アップ！
外周機械加工により施工仕上がりも
格段にアップします！

- 振動軸にはシリンダーローラベアリングを採用し、耐久性が向上。
- 走行機構に減速機が無いため走行モーターからのオイル漏れが激減。
- 前後進レバーが中立時のみエンジンが始動する安全設計。
- 後進時、挟まれ事故から作業員をガードする、緊急停止装置付。
- ホールド・トゥ・ラン コントロール機能搭載の H600CE/H650CE もあります。(前後進レバーから手を離すと機械が停止する安全装置)

H600KS/H650KS



▶ フルオープン樹脂カバー



▶ 散油装置(オプション)

H550KS



▶ バックミラー



▶ LEDサイドライト(オプション)

意匠出願登録済

H600E

▶ 電動ハンドガイドローラ

アクセルレバー最大時
音響パワーレベル 84dB

業界初 電気駆動ハンドガイドローラ
圧倒的な静粛性、排気ガスゼロを実現！



CO₂削減効果

約**50%**
CUT

ランニングコスト

約**67%**
CUT

トンネル内、学校、病院、住宅街近郊での施工に適応！

仕様

Model		H600E
打刻様式		60E-****
質量		
機械質量	kg	620
寸法		
全長	mm	2,355
全幅	mm	634
全高	mm	1,183
軸距	mm	520
締固め幅	mm	588
カーブクリアランス	mm	212
振動		
起振力	kN	9.8
振動数	Hz	55
静線圧 N/cm(kg/cm)	前輪	37.4(3.8)
	後輪	65.7(6.7)
動線圧 N/cm(kg/cm)	前輪	120.4(12.3)
	後輪	148.7(15.2)
走行		
走行装置		油圧式
走行速度	km/h	0~3.0
登坂能力	%(度)	47
容量		
水タンク	L	35

充電時間は約**120分**

作業時間 振動+走行 約**80分**
走行のみ 約**100分**

- 屋外充電器セット使用の場合
- 本体バッテリー直接充電の場合は約240分
- 時間は当社テスト値による

静かでクリーンな**電動モータ**

従来のディーゼルエンジンから
電動モータへ置き換えました。

ディーゼルエンジン



電動モータ



家庭電源使用で容易な充電



● バッテリー取り外し時



● 屋外充電器セット充電中
* コンセント容量
充電器1台につき15A以上必要

KV25CS/DS KV40CSE/DSE KV40CSi/DSi

▶ コンバインド・タンデム
搭乗型振動ローラ



NETIS登録済
国土交通省指定
超低騒音型機械

狭い現場から中規模工事まで対応するオールラウンダー6モデル!!

	KV25CS/KV25DS	KV40CSE/KV40DSE	KV40CSi/KV40DSi
コンバインド	1,200mm 2,700kg 17.7kW 	1,300mm 3,600kg 18.2kW 	1,300mm 3,600kg 25.0kW
タンデム	1,200mm 3,000kg 17.7kW 	1,300mm 4,000kg 18.2kW 	1,300mm 4,000kg 25.0kW

フルオープンボンネット：
容易なメンテナンス作業
跳ね上げ時ロックバー装備

バックプザースイッチを標準装備
ECOモード、間欠散水タイマー（オプション）

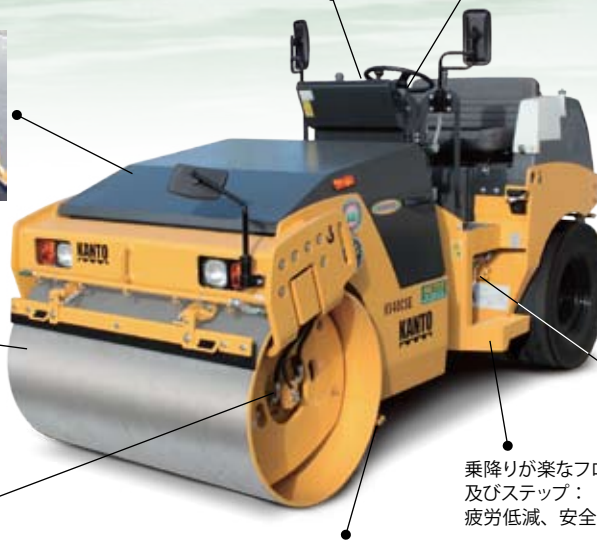
欧州安全視界基準1X1をクリア
NETIS登録 超低騒音型



内製の外周加工ドラム：
散水の流れが均一になり、
表面仕上げがスムーズに



振動軸にはシリンダーローラベアリング
を採用し、耐久性を向上



ドラム前後にスクレーパー標準装備
（後輪タイヤは後方のみ）



後輪2モーター駆動により、コーナリング時のタイヤの引きずりを軽減し、標準装備のデフロックで不整地での安定作業が可能（コンバインド）



高耐久性のインペラー式
散水ポンプ採用

乗降りが楽なフロア高さ
及びステップ：
疲労低減、安全性を確保

KV40CSi/DSi

フル電子制御 DPF 付コモンレールエンジンで PM（粒子状物質）と Nox（窒素酸化物）を低減 25kW のハイパワーモデル



▶ マルチ液晶ディスプレイモニター搭載



▶ 排出ガス後処理システム

KV25CS/DS KV40CSE/DSE KV40CSi/DSi

▶ コンバインド・タンデム
搭乗型振動ローラ



NETIS登録済
国土交通省指定
超低騒音型機械

各部機能、オプション (Op) 紹介

振動切換スイッチ

振動ランプ

散水スイッチ

液剤噴霧スイッチ
(コンバインド用)

間欠散水タイマー
(Op)



駐車ブレーキスイッチ

変速スイッチ
(KV40系のみ)

灯火スイッチ

バックブザースイッチ



▶ エコモードスイッチ(KV40CSi/DSi)



▶ ハザードスイッチ(Op)



▶ 12V電源ソケット(標準)



▶ LEDライト(Op)



▶ バックセンサー(Op)



▶ カラットシート(Op)

▶ オプション一覧

	KV25CS/DS	KV40CSE/DSE	KV40CSi/DSi
ハザードスイッチ	○	○	標準
間欠散水タイマー	○	○	○
寒冷地仕様	○	標準	標準
バックセンサー	○	○	○
LED フロント・リアライト	○	○	○
12V 電源ソケット	標準	標準	標準
カラットシート	○	○	○

KT30S

▶ タイヤローラ



国土交通省指定超低騒音型



第3次基準値排出ガス対策型
(申請中)

市街地、小規模舗装工事に最適！

欧州安全視界基準1 X 1をクリア
NETIS登録 超低騒音型

フィルター付樹脂製水タンク

工具不要で交換可能な散水ノズル

吊上用フック
(標準装備)

回転式アンダーミラースター

デフロック標準装備
不整地での安全性を確保

前後進レバーがニュートラル位置の時のみ、
エンジンが始動する安全設計

フットブレーキ作動時、
油圧モータに組み込まれた
ネガティブブレーキと連動し、
より確かな安全性を実現

液剤補充の容易な
散油装置(標準装備)

高耐久性のインペラー式散水ポンプ



関東鉄工だけの2駆動モータ
コーナリング時のタイヤの引きずりを
軽減、カーブ路面でも均一でスムーズ
な締固めが可能



2スピードモータ採用により速度の
モード切替が可能



CW200

▶ クローラ洗浄機

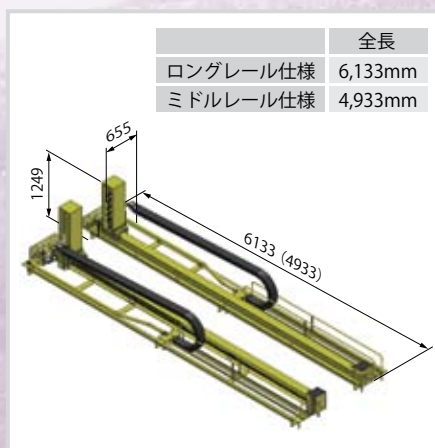


Check!!



YouTubeで
動画がご覧になれます。

安全衛生管理体制に貢献する自動洗浄ロボット
洗浄工数とコストを大幅低減
新型で更に耐久性アップ・メンテナンス性改善
コンパクトな現場にフィットするミドルレール仕様を追加



一連の洗浄作業が約30分で終了

本機を使用すれば作業員が重労働をすることなく、安全な環境で一連の作業が完了します。

左右計14のノズルから水を噴射

左右計14のノズルがクローラに向かって大量の水を噴射。
洗浄ノズルが縦方向に上下動しながら前後に連続走行し、機械足回りの洗浄を行います。

100台使用でコストは5分の1 *当社試算による

20トンクラス油圧ショベルを100台洗浄した時の電気・水道・人件費を合わせたコストは、
高压洗浄機での手作業に比べ約5分の1。使用水は循環方式により、再利用が可能です。

アンカー不要で設置が容易

設置にアンカー留めが不要な置き型式なので、様々な形状の洗車場に対応することができます。



▶ 仕様

駆動方式		電気駆動
洗浄可能機械		油圧ショベル・ブルドーザー・キャリアダンプなどのクローラ機械(ゴムおよび鉄どちらでも可) ホイールローダー・ダンプトラックなどの足回りも洗浄可能
外形寸法	レール長さ	6,133mm(ロング)/4,933mm(ミドル)
ノズル走行距離	左右ノズル間距離	3,380mm(最小)
	Sモード	2,530mm
	Mモード	3,810mm
	Lモード	5,010mm(ロングレール仕様のみ)
ノズル走行時間		5分44秒/40Hz (ロング) 4分22秒/40Hz (ミドル)

駆動方式		電気駆動
ノズル昇降ストローク		90mm
洗浄ポンプ	吐出量	500L/min
	所要電力	11kw
総所要電力		75A, 200V (3相)
ノズル走行駆動方式		電動モーター
走行パターン	走行距離	ショート(S)・ミドル(M)・ロング(L) (ミドルレール仕様は(S)・(M)のみ)
	走行回数	1・2・3・5・連続(50回)
コントロールプログラム		シーケンス
走行制御		シーケンス
洗浄水吐出制御		電動バルブ

安全・快適で容易な操作、環境にやさしいパワフルなコンパクター



■ 優れたトラクションと走行性能を発揮する
3節点スイベルジョイント



■ Easy Drive 操作コンセプト



■ 機械と現場の周辺をしっかりと見渡せる構造



■ 高い線圧と大きな振幅による高い締固め能力



■ 「Hammtronic」 ハムトロニック



エンジン制御



駆動装置管理



振動制御



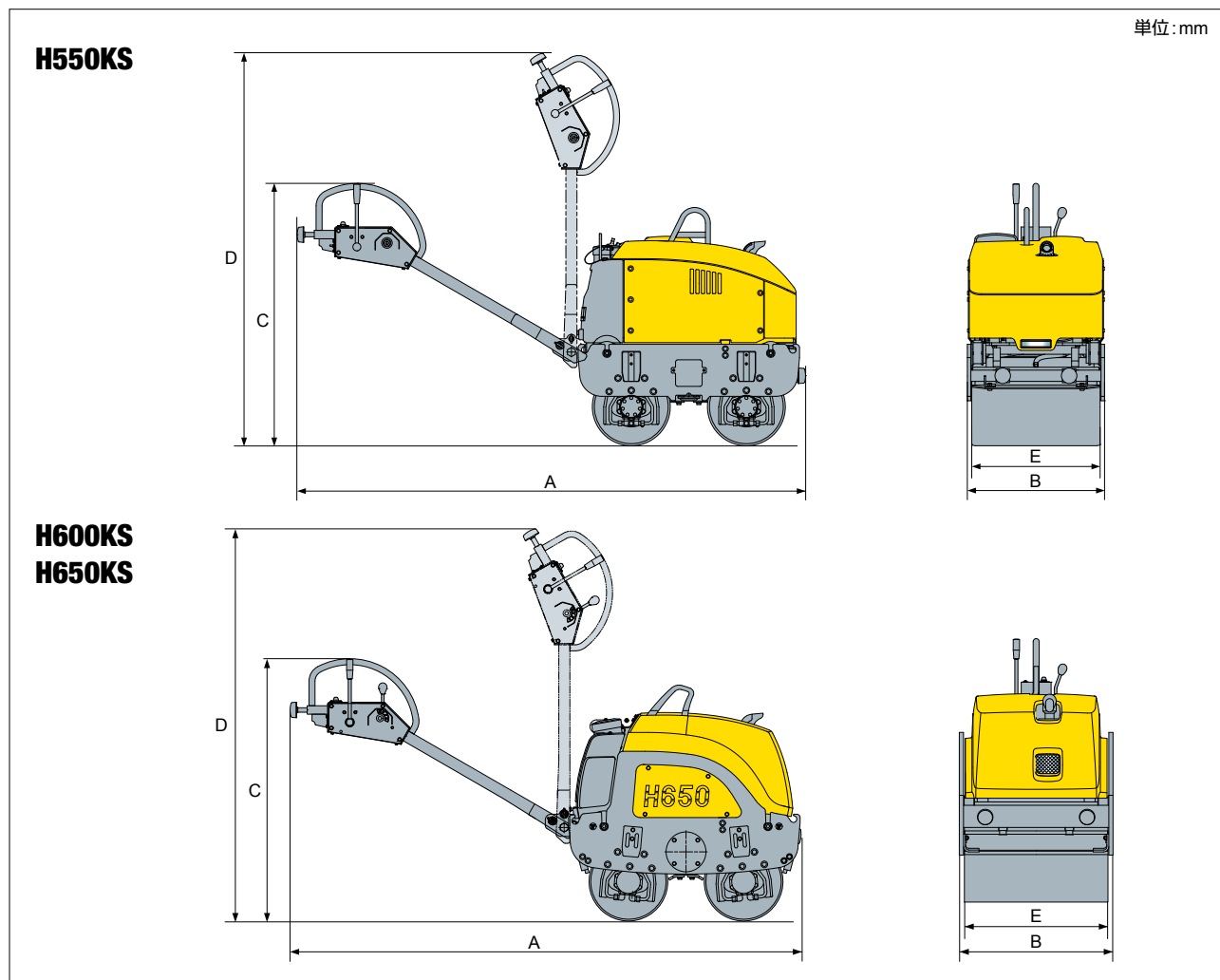
空転防止制御

4つのモジュールの
状態を最適化する
電子制御システム

■ メンテナンスが容易なフルオープンボンネット



▶ 外形図



▶ 仕様

Model		H550KS	H600KS	H650KS
打刻様式		50-*****	60-*****	66-*****
質 量				
機械質量	kg	548	605	635
寸 法				
全 長	A mm	2,297	2,308	2,308
全 幅	B mm	620	634	694
全 高	C mm	1,185	1,182	1,182
全高(収納時)	D mm	1,772	1,769	1,769
締固め幅	E mm	580	588	648
エンジン				
名 称		クボタ	クボタ	クボタ
型 式		E75-E3-NB3	E75-E3-NB3	E75-E3-NB3
冷却方法		水冷	水冷	水冷
定格出力		kW/rpm	3.7/2,200	3.7/2,200

Model		H550KS	H600KS	H650KS	
振 動					
起 振 力		kN	9.8	9.8	10.8
振 動 数		Hz	60	55	55
静 線 圧	N/cm(kg/cm)	前輪	39.2(4.0)	40.2(4.1)	39.2(4.0)
		後輪	58.8(6.0)	66.7(6.8)	61.8(6.3)
動 線 圧	N/cm(kg/cm)	前輪	123.6(12.6)	122.2(12.5)	122.2(12.5)
		後輪	143.4(14.6)	148.1(15.1)	144.8(14.8)
走 行					
走行装置		油圧式	油圧式	油圧式	
走行速度		km/h	0～3.0	0～3.0	0～3.0
登坂能力		% (度)	40(22)	40(22)	40(22)
容 量					
燃料タンク		L	4.8	4.8	4.8
エンジンオイル		L	1.3	1.3	1.3
散水タンク		L	32	35	35
作動油タンク		L	10	10	10

▶ オプション

- エコスターター：エンジン始動時のスターター空回しを防止、セルモータ&バッテリーの寿命をアップします。
- 散油装置 ● LEDサイドライト (H550KS)

注：電動ハンドガイドローラ H600E の仕様は 4 ページに記載

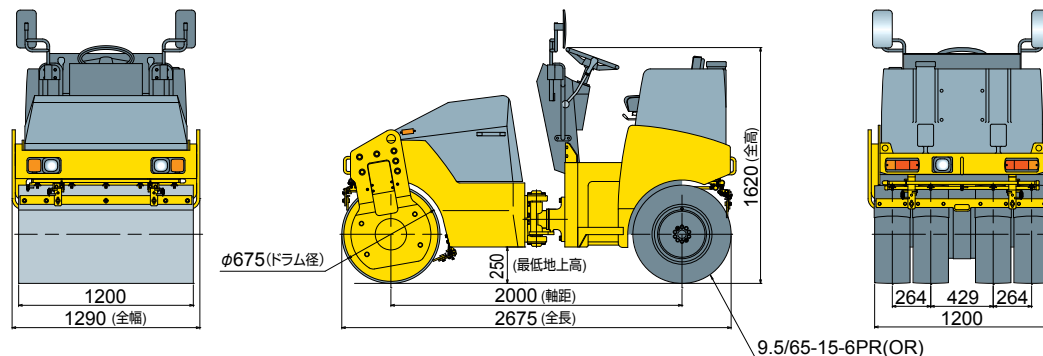
KV25CS/KV25DS

▶ 搭乗型振動ローラ

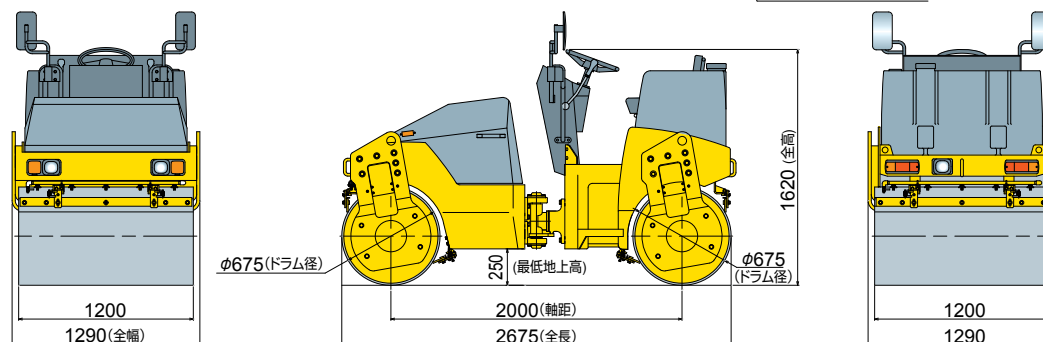
▶ 外形図

単位:mm

KV25CS



KV25DS



▶ 仕様

Model		KV25CS コンバインド型	KV25DS タンデム型
打刻様式		KV25C	KV25D
質 量			
機械質量	kg	2,430	2,730
運転質量	kg	2,700	3,000
前輪	kg	1,450	
後輪	kg	1,250	1,550
エンジン			
名 称		三菱 S3L2-EDL2M	
形 式		立形水冷3気筒、渦流室式	
定格出力	kW/min ⁻¹ [PS/rpm]	17.7/2,500 [24/2,500]	
総排気量	L	1.318	
動力伝達装置			
変 速 機		静油圧変速機	
逆転装置		可変容量形油圧ポンプの吐出方向変換による	
終減速機		ダイレクトドライブ	
起振装置			
動力伝達		静油圧式	
起 振 機		一軸偏心	
装着位置		前輪	前輪&後輪

Model		KV25CS コンバインド型	KV25DS タンデム型	
性 能				
起 振 力		kN[kg]	22.6[2,300]	20.6[2,100]×2
振 動 数		Hz [vpm]	58[3,500]	
静 線 圧	N/cm(kg/cm)	前輪	118.7(12.1)	118.7(12.1)
		後輪	—(—)	126.7(12.9)
動 線 圧	N/cm(kg/cm)	前輪	306.9(31.3)	290.3(29.6)
		後輪	—(—)	298.3(30.4)
走行速度		km/h	0～12.0	
登坂能力		度	21	
最小回転半径		m	4.0	
制動装置				
走行ブレーキ		静油圧式ブレーキ		
駐車ブレーキ		機械式湿式多板式		
操向装置				
形 態		アーティキュレート式		
形 式		油圧式		
その他				
散水装置		電動圧送式(加圧噴霧)		
液剤噴霧装置		電動圧送式(加圧噴霧)	—	
燃料タンク		L	40	
散水タンク		L	270	
液剤タンク		L	10	—
作動油タンク		L	30	

▶ オプション

- ハザードスイッチ
- カラットシート
- 間欠散水タイマー
- 寒冷地仕様
- LEDフロント・リアライト
- バックセンサー

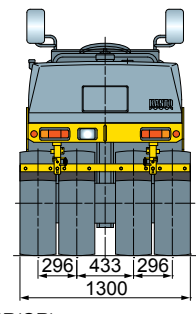
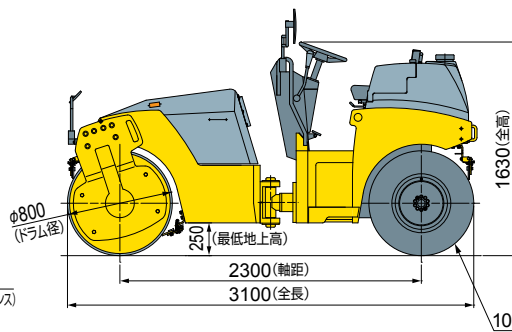
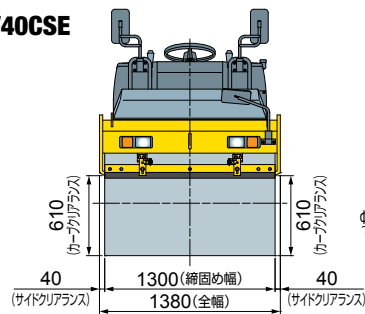
KV40CSE/KV40DSE

▶ 搭乗型振動ローラ

▶ 外形図

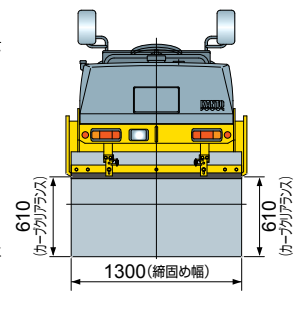
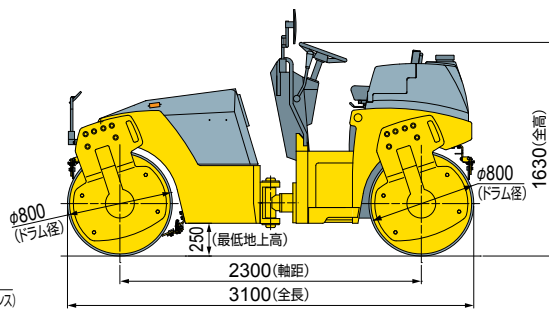
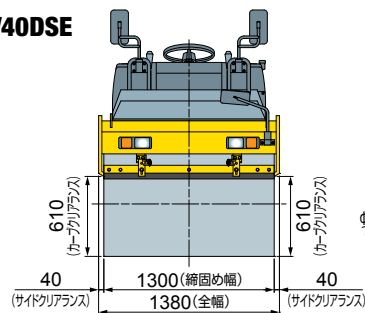
単位:mm

KV40CSE



10.5/80-16-6PR(OR)

KV40DSE



▶ 仕様

Model	KV40CSE コンバインド型	KV40DSE タンデム型
打刻様式	KV40C-4***	KV40D-4***
質量		
機械質量	kg 3,270	3,670
運転質量	kg 3,600	4,000
前輪	kg 2,000	
後輪	kg 1,600	2,000
エンジン		
名称	クボタ D1703-DI	
形式	水冷3気筒, 直噴式	
定格出力	kW/min ⁻¹ [PS/rpm] 18.2/2,200 [24.8/2,200]	
総排気量	L 1.647	
動力伝達装置		
変速機/変速段	静油圧変速/2段切換	
逆転装置	油圧ポンプの吐出方向の変換による	
終減速機	ダイレクトドライブ	
起振装置		
動力伝達	静油圧式	
起振機	一軸偏心	
装着位置	前輪	前輪&後輪

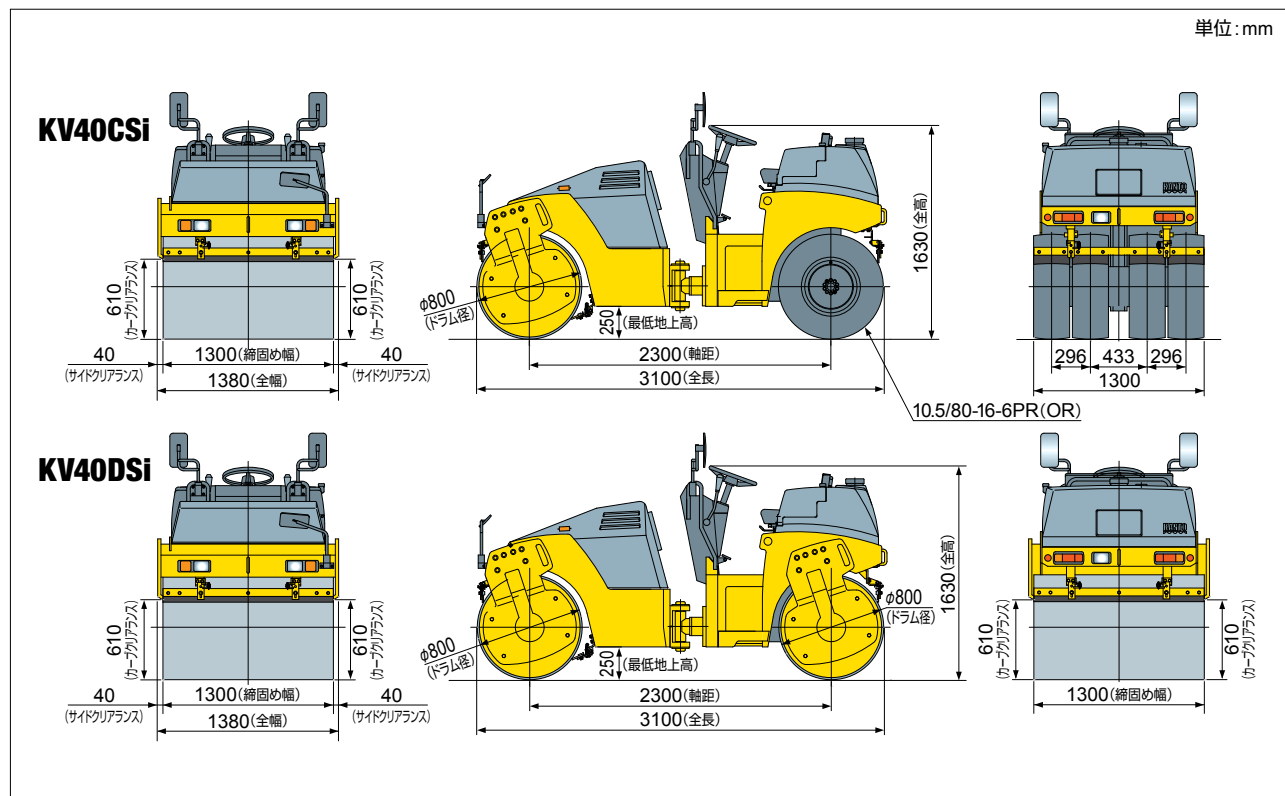
Model	KV40CSE コンバインド型	KV40DSE タンデム型
性能		
起振力	kN[kg] 24.5 [2,500]	24.5 [2,500]×2
振動数	Hz[vpm] 52.5 [3,150]	
静線圧	N/cm(kg/cm) 前輪 151 (15.4)	151 (15.4)
	後輪 — (—)	151 (15.4)
動線圧	N/cm(kg/cm) 前輪 339.5 (34.6)	
	後輪 — (—)	339.5 (34.6)
走行速度	km/h 低0~8.0, 高0~11.5	低0~5.0, 高0~10.0
登坂能力	% (度) 40 (22)	
最小回転半径	m 4.3	
制動装置		
走行ブレーキ	静油圧式ブレーキ	
駐車ブレーキ	機械式湿式多板式	
操向装置		
形態	アーティキュレート式	
形式	油圧式	
その他		
散水装置	電動圧送式(加圧噴霧)	
液剤噴霧装置	電動圧送式(加圧噴霧)	—
燃料タンク	L 50	
散水タンク	L 330	
液剤タンク	L 10	—
作動油タンク	L 35	

▶ オプション

- ハザードスイッチ
- 間欠散水タイマー
- LEDフロント・リアライト
- カラットシート
- バックセンサー

KV40CSi/KV40DSi ▶ 搭乗型振動ローラ

▶ 外形図



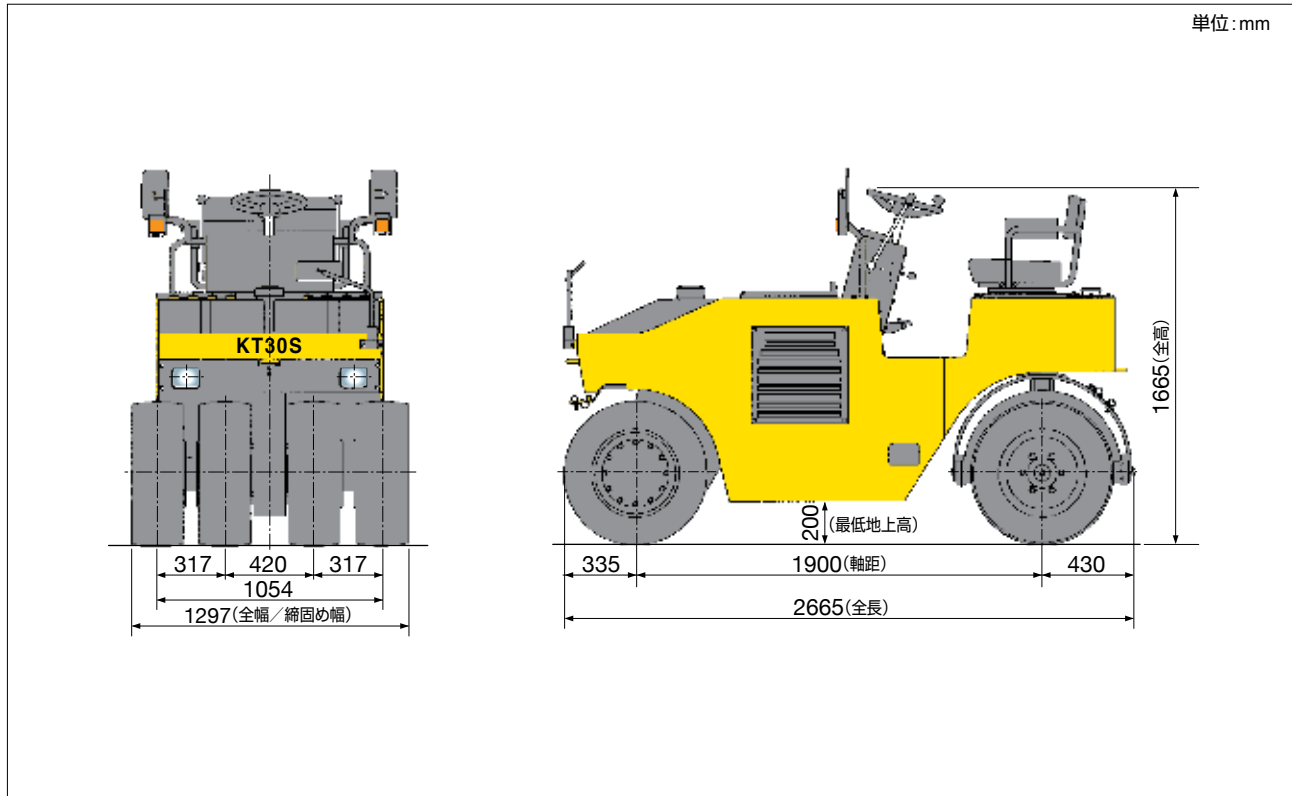
▶ 仕様

Model	KV40CSi コンバインド型	KV40DSi タンデム型
打刻様式	KV40C-4 * * * *	KV40D-4 * * * *
質 量		
機械質量	kg 3,270	3,670
運転質量	kg 3,600	4,000
前輪	kg 2,000	
後輪	kg 1,600	2,000
走行性能		
走行速度	1速 km/h 0~9.0	0~7.5
(前後進等速)	エコモード時 0~8.5	0~7.0
	2速 km/h 0~12.0	0~10.0
	エコモード時 0~11.5	0~9.5
登坂能力	% (度) 40 (22)	
最小回転半径	m 4.3	
エンジン		
名 称	クボタD1803-CR	
型 式	立形水冷3気筒、直噴式	
定格出力	kW/min ⁻¹ [PS/rpm] 25.0/2,400 (34.0/2,400)	
総排気量	L 1.826	

Model		KV40CSi コンバインド型	KV40DSi タンデム型
転圧輪			
振 動 数	Hz[vpm]	57.5(3,450)	57.5(3,450)×2
エコモード時		52.5(3,150)	52.5(3,150)×2
起 振 力	kN[kgf]	26.1(2,665)	26.1×2(2,665)×2
エコモード時		21.8(2,220)	21.8(2,220)×2
動力伝達装置			
変 速 機	静油圧変速／2段切換		
逆転装置	可変容量形油圧ポンプの吐出方向変換による		
終減速機	ダイレクトドライブ		
制動装置			
走行ブレーキ	静油圧ブレーキ		
駐車ブレーキ	機械式湿式多板式		
操向装置			
形 態	アーティキュレート式		
形 式	全油圧式		
その他			
散水装置	電動圧送式(加圧噴霧)		
液剤噴霧装置	電動圧送式(加圧噴霧)		—
燃料タンク	L	45	
散水タンク	L	330	
液剤タンク	L	10	—
作動油タンク	L	35	

- ▶ オプション
- 間欠散水タイマー
 - LEDフロント・リアライト
 - カラットシート
 - バックセンサー

▶ 外形図



▶ 仕様

Model		KT30S
打刻様式		KT30-****
質 量		
運転質量	合計 kg	3,000
	前輪 kg	1,770
	後輪 kg	1,230
機械質量	合計 kg	2,860
	前輪 kg	1,640
	後輪 kg	1,220
タイヤ質量(1本あたり)		
運転質量時	前輪 kg	442
	後輪 kg	410
機械質量時	前輪 kg	410
	後輪 kg	407
走行性能		
走行速度 (前後進等速)	1速 km/h	0~5.7
	2速 km/h	0~10.0
最小回転半径	m	3.9
登坂能力	度	25
制動装置		
走行ブレーキ	静油圧式ブレーキ・機械式湿式多板ブレーキ	
駐車ブレーキ	機械式湿式多板ブレーキ	

Model		KT30S
エンジン		
名 称		三菱 S3L2-EDL2M
形 式		立形水冷3気筒、過流室式
総排気量	L	1.318
定格出力	kW/min ⁻¹ [PS/rpm]	17.7/2500 [24/2500]
動力伝達装置		
変 速 機		静油圧変速機
変速段数		2速
終減速機		遊星歯車式
車輪装置		
タイヤ寸法		9.5/65-15-6PR(OR)
タイヤ本数		前輪4本×後輪3本
タイヤ空気圧	kPa	325
オーバーラップ	mm	105
操向装置		全油圧式 パワーステアリング
散水装置		電動圧送式(加圧噴霧)
散油装置		電動圧送式(加圧噴霧)
タンク容量		
燃料タンク	L	32
散水タンク	L	140
散油タンク	L	10
作動油タンク	L	31

- ▶ オプション
- 寒冷地仕様
 - カラットシート
 - 散水タイマー

▶ 外形図

単位:mm



機械寸法

全長(L)	mm	5850
幅(B)	mm	2284
全高(H)	mm	2960
ドラム幅(X)	mm	2140
積み込み高さ、最低(HI)	mm	2308

▶ 仕様

Model		H11i
質 量		
運転質量(キャビン付き)	kg	10,880
運転質量(ROPSキャノピー付き)	kg	10,630
最大運転質量	kg	13,290
軸加重 フロント/リヤ	kg	5,890/4,990
静線圧 フロント	kg/cm	27.5
本体寸法		
全長	mm	5,850
全高(キャビン付)	mm	2,960
最低積込高さ	mm	2,308
ホイールベース	mm	3,150
全幅 (キャビン付)	mm	2,284
最低地上高、センチ	mm	390
最小回転半径(内輪基準)	mm	3,870
対走行地面角度(前/後)	度	53/32
ドラム寸法		
ドラム幅、フロント	mm	2,140
ドラム直径、フロント	mm	1,504
ドラム厚、フロント	mm	25
ドラムタイプ、フロント		スムーズ
ホイール寸法		
タイヤサイズ、リヤ		AW 23.1-26 12PR
タイヤ幅、リヤ	mm	2,160
タイヤ数、リヤ		2

Model	H11i	
エンジン		
メーカー		DEUTZ
型式		TCD 3.6 L4
シリンダ数		4
定格出力	kW/PS/rpm	85.0/115.6/2300
排出ガスレベル		EU Stage IV / EPA Tier 4
動力伝達装置		
速度、無段階	km/h	0-12.0
制御、無段階		Hammtronic
登坂能力、振動オン/オフ	%	54/59
起振装置		
振動数、フロント、I/II	Hz	30/36
振幅、フロント、I/II	mm	2.04/0.84
起振力、フロント、I/II	kN	246/136
操向装置		
揺動角度	+/- 度	10
形態		アーティキュレート式
タンク容量／充填量		
燃料タンク	L	280
Adblue/DEFタンク	L	32
騒音レベル		
音響出力LW(A)、ステッカ値		104
音響出力LW(A)、測定値		102

▶ 装 備

標準

エアコン付き ROPS キャビン、バックブザー、12V ソケット(2口)、
2x 大型作業ミラー、ルームミラー、3 節点スィベルジョイント、
ダッシュボード(ディスプレイ、表示ランプ、操作ボタン)、
Easy Drive 操作コンセプト、ECO モード、速度プリセット、
前部油圧ホース保護ガード、振動吸収運転席

オプション

ラジオ、回転灯、バックモニター、
パッドフット用シェル、転圧メータ(HCM)

ハム社工場出荷前オプション

振動数調整装置、LED 作業灯、
シートベルト警報装置、電動式開閉ボンネット

KANTO

<http://www.kanto-tk.co.jp>

詳しい情報はホームページをご覧ください。
取扱説明書、パーツリストも掲載しています。

- 本機の仕様は性能向上のため、予告なく変更することがあります。
- ボディカラーおよび他のパーツは、撮影や印刷の関係で実際の色とは異なって見えることがあります。
- ご使用されるときは「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- 故障や事故を防ぐため、車体の定期的な点検を必ず行ってください。
- 本機の運転には「ローラの運転に係わる特別教育」を必ず受講してください。

関東鉄工株式会社 KANTO TEKKO CO., LTD

本社／〒306-0127 茨城県古河市下片田852-4
TEL: 0280-77-0081 FAX: 0280-77-0080

KANTO-TK

検 索

インターネットの「KANTO-TK」で検索してください。
当社ホームページが、すぐに見付かります。

●お問い合わせは…